

林業経済学会2018年秋季大会プログラム

【1日目】2018年11月17日(土)

A会場(総合研究棟A110)			B会場(総合研究棟A107)			C会場(総合研究棟A111)		
開始	発表者・題目	座長	開始	発表者・題目	座長	開始	発表者・題目	座長
9:00 T2	趣旨説明 峰尾恵人(京都大)		9:00 B1	曹禎敏(和歌山大)ほか 韓国における企業の社会貢献事業としての森づくり活動の展開		9:00 C1	御田成顕(九州大)ほか 日常活動理論にもとづいた盗伐発生要因の検討：宮崎県を事例として	
9:10 T2-1	吉田美佳(筑波大) 学問と産業の連携を目指す森林利用学分野の取り組み	峰尾恵人 (京都大)	9:35 B2	趙楊然(東京大)ほか 尾瀬国立公園の施設整備・管理における取り組みと課題：木道、トイレ、ビジターセンターを事例に	山本信次 (岩手大)	9:35 C2	大地俊介(宮崎大)ほか 皆伐に対する市の行政的対応：宮崎県の中核的2市を事例として	川崎章恵 (九州大)
9:35 T2-2	下川哲(早稲田大) 農業経済学の国際的動向：今後の課題と展望		10:10 B3	伊丹公一(東京農工大)ほか 国立公園管理における自然ガイドの役割：日光国立公園奥日光地域を事例に		10:10 C3	石橋弘之(総合地球環境研)ほか 流域社会の森林保全を担う主体の多様化：野洲川上流域集落の歴史的な文脈と現代的な文脈から	
10:00 T2-3	鷲田栄樹(京都大) 林業「経済学」による森林・林業政策の評価	藤野正也 (山梨県富士山科研)	10:45 B4	山田春風(東京農工大)ほか 都市近郊林の開発問題と保全運動：狭山丘陵の墓地開発計画を事例として	柴崎茂光 (歴博)	10:45 C4	澤井啓(北海道大)ほか 東京都における「森林ボランティア」の多様化：活動、団体、参加者、ネットワークに注目して	大浦由美 (和歌山大)
10:25 T2-4	小池浩一郎(島根大) 林業(=林学)概念の発生—その制度的基底		11:20 B5	大塚生美(森総研東北) 森林組合法下の「森林信託事業」の課題と森林信託の可能性	安藤範親 (農中総研)	11:20 C5	安村直樹(東京大)ほか 北海道の苗木生産者65社の概要と地域別・規模別の特徴：北海道庁実施のアンケート調査を利用して	鹿又秀聡 (森総研)
10:50 T2-5	藤野正也(山梨県富士山科研)ほか 引用ネットワークを用いた林業経済学の学術俯瞰	早船真智 (森総研)						
11:15 T2-6	峰尾恵人(京都大) 林業経済学の総括と「新しい林政学」の構想							
11:40	総合討論							
12:10	昼食休憩		11:55	昼食休憩		11:55	昼食休憩	

13:00 T3 趣旨説明 高橋卓也(滋賀県大)	13:00 B6 李玄燧(筑波大)ほか 文化遺産から自然満喫への道：日光国立公園の 国立公園満喫プロジェクトの実施過程と課題	加藤恵里 (千葉大)	13:00 C6 福田淳(広島県)ほか 広島県における素材生産と原木流通の動向につ いて：「平成29年度広島県素材生産実態調査」 の結果	山田茂樹 (森総研)
13:10 T3-1 田中勝也(滋賀大)ほか 持続可能な森林管理に向けた経済インセンティ ブの選好分析	13:35 T1 趣旨説明 三俣学(兵庫県大)	三俣学 (兵庫県大)	13:35 C7 茂木もも子(筑波大)ほか 西川林業地における木材流通の変化：1990年代 以降を中心に	
13:30 T3-2 西村俊昭(株)農楽 社会を支える森林管理を実現する手法開発のた めの基礎研究：滋賀県東近江市における獣害対 策森林管理事業について	13:40 T1-1 三俣学(兵庫県大) 自然アクセス制の国際比較		14:10 C8 奥山洋一郎(鹿児島大)ほか 木材販売方式と収支構成：鹿児島大学農学部附 属演習林の事例から	川村誠 (元京都大)
13:50 T3-3 松下幸司(京都大)ほか 2000年世界農林業センサスの組替集計による慣 行共有事業体の統計的分析	14:00 T1-2 八巻一成(森総研) 林野コモンズにおける過少利用問題と生態系サ ービス		14:45 C9 岩永青史(森総研)ほか 合板産業における大径材利用	多田忠義 (農中総研)
14:10 質疑応答	14:20 質疑応答			
14:20 T3-4 栗山浩一(京都大) 森林認証制度の政策分析：実験経済学アプロー チ	14:30 T1-3 神山智美(富山大) アメリカの自然アクセス制			
14:40 T3-5 幡 建樹(東京大) バイオマス発電が地域の木材産業および林業に 与える影響：岡山県真庭地域の事例	14:50 T1-4 古井戸宏通(東京大) フランスにおける非森林所有者によるきのこ類 の採取について	三俣学 (兵庫県大)		
15:00 T3-6 田中慧吾(東京大) 森林総合産業の現状と課題：北海道下川町を事 例として	15:10 T1-5 齋藤暖生(東京大) イングランドにおける自然アクセス活動の実態 と規範			
15:20 質疑応答	15:30 質疑応答			
15:30 休憩	15:40 休憩		15:20 休憩	
15:40 T3-7 笹田敬太郎(森総研) 地域づくり団体との協働による森林管理・森林 資源利用の可能性について：島根県内の事例を もとに	15:50 T1-6 平野悠一郎(森総研) マウンテンバイカーによる自然アクセス担保の 方法と課題		15:40 C10 都築伸行(森総研) 2011～2015年度における森林組合林産事業の動 向	小菅良豪 (日南町)
16:00 T3-8 梶間周一郎(東北大) 自治体の森林環境税の導入動態：階層的クラス ター分析を用いたアプローチ	16:10 T1-7 泉留維(専修大) 日本におけるフットパスの設置の仕方について 根室フットパスを事例にして		16:15 C11 林田朋幸(帝京大学) 三重県私有林地帯における林業労働者の生活： ある林業労働者の1980～2010年代の日報分析か ら	田中亘 (森総研)
16:20 T3-9 山本美穂(宇都宮大) 「森林環境税」市町村交付金事業の現状と課題 ：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税」の 事例より	16:30 T1-8 寺崎竜雄(日本交通公社)ほか 小笠原における持続可能な観光のためのローカ ルルールの実状	齋藤暖生 (東京大)	16:50 C12 堀靖人(森総研)ほか 自営林業における自伐の意義：ドイツ、バーデ ン・ヴェルテンベルク州の農家林調査の分析か ら	神沼公三郎 (林総研)
16:40 T3-10 水間亮洋(鹿児島大) 企業の森づくり活動の実態把握と県の支援政策 に関する研究：九州7県を事例として	16:50 T1-9 星健太(東京農工大)ほか 市民活動による都市近郊地域資源管理の保全・ 管理の可能性：埼玉県見沼たんぼを事例として		17:25 C13 元楚(筑波大)ほか 自伐林家グループの動向	駒木貴彰 (森総研東北)
17:00 総合討論	17:10 総合討論			
17:50	研究発表終了・移動			
18:15	懇親会@第2エリア食堂			

【2日目】2018年11月18日(日)

A会場(総合研究棟A110)			B会場(総合研究棟A107)			C会場(総合研究棟A111)		
開始	発表者・題目	座長	開始	発表者・題目	座長	開始	発表者・題目	座長
9:00	A1 志賀和人(林業経済研) 森林管理における林務組織と地域ガバナンス	柿澤宏昭 (北海道大)	9:00	B7 永治和久(筑波大)ほか 吉野林業における山守制度の展開過程と新たな取り組み	加藤衛祐 (筑波大)	9:00	C14 村井敦史(富山県木研) 富山県における製材業の現状と課題	天野智将 (森総研東北)
9:35	A2 岩木陽平(九州大)ほか 「新たな森林管理システム」政策下における都道府県による森林経営体選定の特徴	土屋俊幸 (東京農工大)	9:35	B8 山本伸幸(森総研) 『島田錦蔵日記』を読む：占領期日本林業・林政とライフコース分析	芳賀和樹 (徳川林政史研)	9:35	C15 古賀寛隆(北海道林産試)ほか FIT発電事業は木材加工事業の経営安定化に寄与するか？	伊藤幸男 (岩手大)
10:10	A3 相川高信 都道府県における市町村の支援体制の検討：長野県の事例	石崎涼子 (森総研)	10:10	B9 竹本太郎(東京農工大) 日本帝国による森林管理の量的把握	泉英二 (愛媛大)	10:10	C16 早船真智(森総研)ほか PEFCグループ森林管理認証の展開とグループ主体：日本・北欧の比較研究	藤原敬 (林経研)
10:45	A4 佐藤宣子(九州大) 豪雨による流木被害の常態化と森林政策の課題：平成29年7月九州北部豪雨を題材に	大田伊久雄 (琉球大)	10:45	B10 角谷黎(宇都宮大)ほか 大正世代による高度成長期の林野利用：栃木県那須烏山市大木須「長山家農業日誌」より	島本美保子 (法政大)	10:45	C17 三柴淳一(FoE Japan)ほか 日本の家具業界における違法伐採対策への対応	
11:20	A5 木村憲一郎(福島林業研究会) 他行政分野からみた自治体林政の特徴	香坂玲 (東北大)	11:20	B11 赤池慎吾(高知大)ほか 魚梁瀬森林鉄道敷設による山村の近代化の側面：女性の労働に注目して	原田一宏 (名古屋大)	11:20	C18 樋熊悠宇至(筑波大)ほか 林産物の関税削減による日本の林業セクターへの影響評価：応用一般均衡モデルの構築	
11:55 昼食休憩(学食が休みのため来学前に各自ご用意下さい)								
12:40	A6 三ツ井聡美(北海道大)ほか 地域再生に貢献する自然資本：行政文書からの一考察	林雅秀 (山形大)	12:40	B12 藤崎泰治(九州大)ほか UNFCCC-REDD+枠組形成プロセスの分析	葉山アツコ (久留米大)	12:40	C19 芳賀大地(鳥取大) 林業事業体の学習過程：鳥取県における事例研究	田村和也 (森総研)
13:15	A7 Kazi Kamrul Islam(九州大)ほか Forestland grabbing by the foreigner in the Hokkaido, Japan and the question of sustainable forest development	寺下太郎 (愛媛大)	13:15	B13 相楽美穂(跡見学園女子大) 途上国の森林開発分野での紛争解決手続き		13:15	C20 游瀟(北海道大)ほか 北海道における木育の展開過程と木育マイスター活動の実態	前川洋平 (日本木質バイオマス協)
13:50	A8 根本和宜(国環研)ほか 中山間地域における住民の森林所有と森林環境意識：福島県三島町を事例に	武正憲 (筑波大)	13:50	B14 Kevin Muhamad Lukman(東北大)ほか Comparative Analysis of Indonesia's Mangrove Policy at National and Regional Level: An Experience from BlueCARES Project for Governance of Blue Carbon Ecosystem		13:50	C21 大石卓史(近畿大)ほか キノコの機能性に対する消費者の期待とその規定要因	藤掛一郎 (宮崎大)
14:25	A9 田村典江(総合地球環境研)ほか 高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定に関する地域の認識		14:25	B15 井上真(早稲田大)ほか ボルネオ島中部生態系保全へのSDG等国际枠組みの活用：参加原則に関するインドネシアおよびマレーシアの比較検討		14:25	C22 垂水亜紀(森総研関西) 近畿地方におけるシイタケ原木の需給実態	
15:00	A10 高瀬康平(北海道大) 林業大学校における教育プログラムの現状と課題：大学校間の比較検討		15:00	B16 鮫島弘光(IGES)ほか 東南アジアにおける小農主体型新興木材生産地形成の比較：インドネシア、ベトナム、フィリピンを中心に		15:00	C23 高橋卓也(滋賀県大)ほか 森林に関わる主観的幸福度に影響を及ぼす要因の研究：流域レベル/上流域レベル調査の比較を中心として	道中哲也 (森総研)
15:35	A11 井上真理子(森総研多摩)ほか 戦後の学校教育における農業教育での林業の扱いの変化		15:35	B17 瀧美晴(筑波大)ほか 退耕還林政策による造林に関する農民の認識：四川省達州市の事例から		15:35	C24 大田伊久雄(琉球大)ほか 森林認証木材製品のプレミアム価格形成に関する一考察	林宇一 (宇都宮大)
16:10	研究発表終了・解散		16:10	B18 許思寒(九州大)ほか 保護地体系の重複管理の実態と観光運営による住民への影響：中国剣門関観光景区における事例		16:10	C25 尾分達也(九州大)ほか 高性能林業機械メーカーのリスク認識：素材生産事業体の機械投資について	鹿又秀聡 (森総研)
16:45 研究発表終了・解散						16:45 研究発表終了・解散		